



# りかこ通信

第2号 平成23年7月発行  
発行 中村理香子後援会



ブログ更新中



平成23年度第2回定例市議会が6月1日から7月4日まで開催されました。東日本大震災において、浦安市は、未曾有の液状化により市の4分の3における地域において被害を受けました。今回の議会は、復興に向けての第1歩となる補正予算及び、浦安市独自支援策についての議案が審議されました。

中村りか子は初の一般質問を6月21日(火) 行いました。まず冒頭、「支えあう浦安」の実現に向け、「ピンチをチャンス」として震災復興を市民の皆様と一丸となって取り組むこととお誓いし、皆様からいただいたご要望と選挙公約の実現に向け、質問をいたしました。

## 一般質問概要

### 1. 東日本大震災での課題について

- ◆震災時の市からの情報提供の整備について、防災行政無線が聞き取れないとの市民の苦情に対し、メールサービスの更なる活用、ツイッター、ユビキタス事業で設置した受診端末機の活用を進めるとともに、障がい者や高齢者などへの対応として、ラジオでの情報発信に取り組んでほしいことを要望しました。
- ◆災害用備蓄倉庫の液状化における備蓄品の見直しを要望しました。
- ◆災害の状況によって避難所の指定が異なる場合の避難指示の徹底と、学校の避難所として機能の強化を要望しました。

### 2. 学校教育について

- ◆現在、浦安市内で行われている避難訓練だけではなく、想定外の災害が起こったときに「自分の命は自分で守る」との視点にたった防災教育の必要性を訴えました。
- ◆基礎学力支援について、震災での臨時休校時の対応と、小学校高学年の算数、中学生の数学のきめ細やかな対応を要望しました。
- ◆進学支援について、経済格差が進学格差につながらないように経済的支援を要望しました。

### 3. 脳卒中対策について

- ◆脳卒中発症時の早期発見による迅速な初期治療開始のために、市民への意識啓発を要望しました。
- ◆救急搬送体制の更なる充実を要望しました。
- ◆脳卒中は介護が必要となる原因のトップとなるため、地域包括支援センターの元町地区への早期の設置を要望しました。

### 4. 浦安市斎場へのオンデマンドバスの今年度早期の実現を要望しました。

(オンデマンドバスとは、利用者からの要請で運行するバスです)

★教育民生常任委員会では、学校給食について質疑し、  
原材料の産地公開が実現しました！

★皆様の声を市政に！中村りか子は全力で働きます！  
公明党控室 (350)1202  
e-Mail ; n.ricaco@jcom.home.ne.jp

